

県民参加による

森林環境の保全と 森林と共生する文化の 創造をめざして

令和5年度
森林環境税活用
事業実績報告書



愛媛県イメージアップ
キャラクター
みきゃん

愛媛県



—— はじめに ——

森林は、人間の生活に必要な木材を供給するだけでなく、清らかな水や空気を生み出し、更には、地球温暖化や土砂災害の防止にも貢献するなど、私たちの快適で安全・安心な暮らしに不可欠な「緑の社会資本」です。

県では、県土の7割を占める約40万haの森林を健全な姿で次世代に引き継いでいくため、平成17年度に森林環境税を導入し、「森をつくる」「木をつかう」「森とくらす」の三つの分野において、豊かな森林の保全・再生に向けた取り組みを進めており、県民の森林に対する意識の向上や、「県民参加の森林づくり」は着実に進展しています。

森林の持つ水源涵養機能、土砂崩壊防止機能等の多面的機能は、これまでも広く認知されてきたところですが、近年では、気候変動などに対する危機意識の高まりを背景に、カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成に欠かせない存在として注目されており、森林の果たす役割はますます重要になっています。

このような中、県民の皆様の御理解を賜り、森林環境税は、令和2年度から6年度までを第4期として継続しており、引き続き、森林環境の保全と森林資源の活用、森林と共生する文化の創造に力を尽くすとともに、令和8年春、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、本県で60年ぶりに開催する第76回全国植樹祭に向け、県内各地で植樹イベント等を実施し、開催理念の普及・浸透を図って参る所存です。

本書は、令和5年度の実績を取りまとめたものであり、ぜひ御一読いただき、本県の森林環境税への御理解と、森林に対する関心を更に深めていただければ幸いです。

今後とも、県民共有の財産である森林を守り育てていくため、効率的、効果的な事業推進に努めて参りますので、皆様方におかれましては、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

令和6年12月

愛媛県知事 中村時広



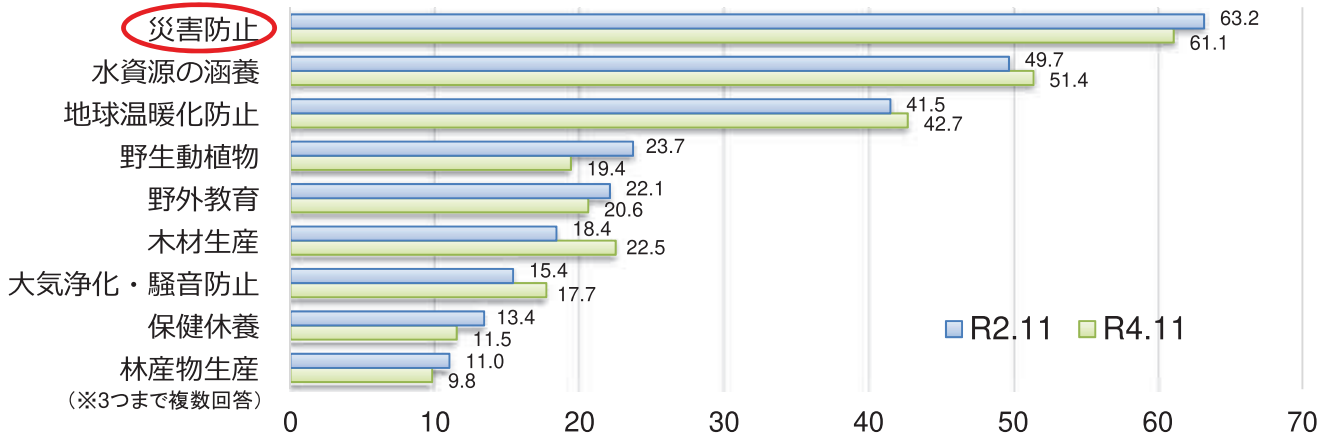
〈愛称〉E~もりくん

「E~もりくん」は、森林環境税の普及啓発用シンボルマークです。平成20年10月に本県で開催された「第32回全国育樹祭」のシンボルマークとしても活躍いたしました。

デザイン いけだ 池田 まさよ 正誉
愛称 たかつき 高月 ゆうま 悠馬

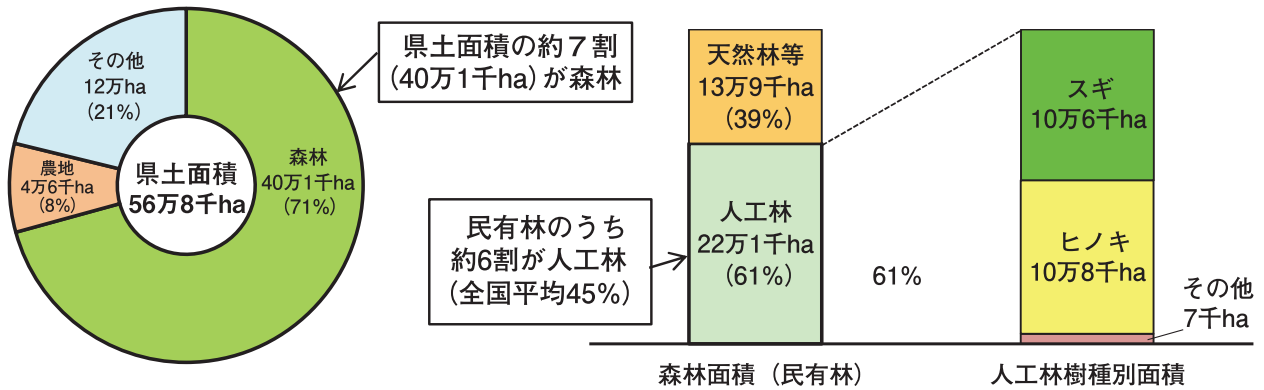
愛媛県の森林・林業を取り巻く環境

1. 県民の森林に期待する働き



資料：「愛媛県政に関する世論調査」令和5年3月公表

2. 県土面積と人工林の面積




3. 森林(人工林)の循環利用サイクル



森林環境税は えひめの森林づくりに役立っています

私たちのふるさと愛媛は、県土の7割を森林がしめる緑豊かな恵まれた環境にあります。
これらの森林は、かけがえのない県民共有の財産であり、健全な姿で次代に引き継ぐため、
森林環境税を活用し、自然との調和を図りながら「県民参加の森林づくり」を進めています。



森林環境税

【納める額】 個人 年額700円 法人 年間1,400円～56,000円
(資本金などに応じた額)

【納める人】 県内に住所がある個人 県内に事務所がある法人

【期 間】 令和2年度～令和6年度

森林環境税は、県民税均等割に上乗せする方法で納めていただいています。



豊かな県民生活の実現

森林環境税を活用した事業

県指定事業

森をつくる

県民共有の財産である森林を、水源かん養や山地災害防止など公益的機能が発揮できるよう森林の整備や保全に努めます。




フォレストワーカーの養成 ミニチュア探穂園(東温市)

県指定事業

木をつかう

森林から生まれ、人に優しく地域の環境保全にも貢献する木材を、より身近に利用していくことに努めます。






CLT 建築物の整備 林福連携の取組み

県指定事業

森とくらす

森林との出会いやふれあいを通して森林を知り、森林を身近に感じて森林を愛する契機を創り出すことに努めます。

えひめ山の日の啓発 ワークショップ実施

公募事業

県民の自発的な提案による森林環境保全等の活動に対する支援を行い、県民参加の森林づくり活動の一層の推進を図ります。




竹林整備活動 炭焼き活動

目 次

森林環境税を活用した施策の仕組み	…… 1
令和5年度事業実績	…… 2
1 事業総括表	
2 事業別実績	
(1) 県指定事業	
【森をつくる活動】	…… 4
① 森林整備推進事業	
② 集落等山地災害危険地区整備事業	
③ フォレスト・マイスター養成支援事業	
④ 有害鳥獣総合捕獲事業	
⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業	
⑥ 優良種苗確保事業	
⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業	
⑧ 県産大径材生産促進事業	
⑨ 森林カーボンオフセット促進事業	
⑩ エリートツリー活用省力化モデル事業	
⑪ えひめ農林水産業魅力発信事業	
【木をつかう活動】	…… 19
① 木質バイオマス利用促進事業	
② CLT 建築物建設促進事業	
③ 木の香る公園施設整備事業	
④ えひめ材住宅普及啓発事業	
⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業	
⑥ 特用林産物生産販売促進事業	
⑦ えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト	
【森とくらす活動】	…… 33
① 県民と森との交流促進事業	
② 林業普及指導事業	
③ 「森に親しむ博物館」開催事業	
④ 森林病虫獣害対策事業	
⑤ アートの森プロジェクト事業	
(2) 公募事業	
県民参加の森林づくり公募事業	…… 43

令和5年度県民活動提案公募事業活動状況	…… 4 5
(3) 全国植樹祭積立金事業	
①全国植樹祭開催準備費	…… 6 9
②えひめ森林公園整備事業費	…… 7 0
＜資料編＞	
愛媛の森林・林業と森林環境税	…… 7 1
1 森林の働き	
2 愛媛の森林・林業の現状	
3 森林環境税の導入	
・ 第1期森林環境税の事業目標と実績	
・ 第2期森林環境税の事業目標と実績	
・ 第3期森林環境税の事業目標と実績	
愛媛県森林環境税条例	…… 8 5
愛媛県森林環境保全基金条例	…… 8 8
愛媛県森林環境保全基金運営委員会委員名簿	…… 8 9

第4期森林環境税を活用した施策の仕組み（令和5年度事業）

— 森林環境の保全と森林と共生する文化の創造 —

森林環境税

積み立て

森林環境保全基金

透明性
効率性
の確保

愛媛県森林環境保全基金運営委員会

- ・ 基金の管理
- ・ 事業内容の検討
- ・ 成果の公表 等

事業実施の考え方

- ① 透明性が高いこと
- ② 県民に分かりやすいこと
- ③ 目に見える形で結果を出せること

指定事業

公募事業

基金の取り崩し

県民の参加・協力・支援

公募事業の審査

県民

個人、法人、任意団体、
協同組合 など

市町

事業公募

森をつくる

指定事業	① 森林整備推進事業
	② 集落等山地災害危険地区整備事業
	③ フォレスト・マイスター養成支援事業
	④ 有害鳥獣総合捕獲事業
	⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業
	⑥ 優良種苗確保事業
	⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業
	⑧ 県産大径材生産促進事業
	⑨ 森林カーボンオフセット促進事業
	⑩ エリートツリー活用省力化モデル事業
	⑪ えひめ農林水産業魅力発信事業
公募事業	○ 水源の森づくり
	○ 里山再生と放置竹林の整備

木をつかう

指定事業	① 木質バイオマス利用促進事業
	② CLT建築物建設促進事業
	③ 木の香る公園施設整備事業
	④ えひめ材住宅普及啓発事業
	⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業
	⑥ 特用林産物生産販売促進事業
	⑦ えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト
公募事業	○ 木材とのふれあい促進
	○ 親子木工教室
	○ 炭焼き体験教室など

森の交流センター

- ボランティア、NPO 等のネットワーク化、活動、交流支援
- フィールドの登録、提供
- 森林情報の収集、提供
- 公募事業の推進

森とくらす

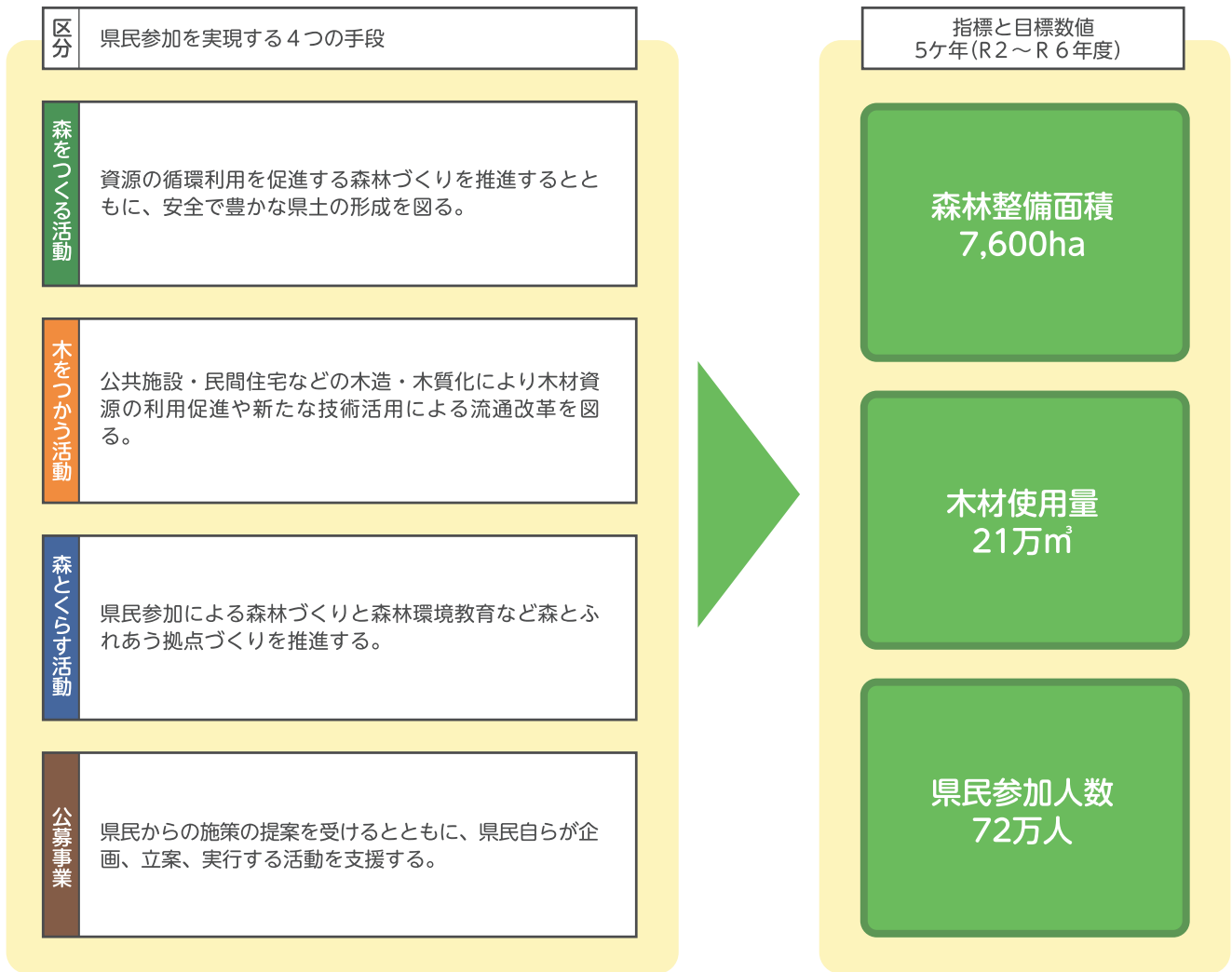
指定事業	① 県民と森との交流促進事業
	② 林業普及指導事業
	③ 「森に親しむ博物館」開催事業
	④ 森林病虫獣害対策事業
	⑤ アートの森プロジェクト事業
公募事業	○ 森林・自然体験活動
	○ 野生生物保護観察会
	○ ふるさとの森とのふれあいなど

全国植樹祭積立金事業

- ① 全国植樹祭開催準備費
- ② えひめ森林公園整備事業費

第4期森林環境税の目標と実績

I 第4期森林環境税の事業目標



II 第4期森林環境税の事業実績

目標項目	目標数値	実績							
		R2	R3	R4	R5	R6	計	達成率(%)	
森林整備面積(ha)	7,600	1,190	1,135	1,222	1,265		4,812	63	
木材使用量(m³)	210,000	91,784	91,112	90,440	95,040		368,336	175	
県民参加人数(人)	720,000	359,228	320,847	486,162	550,411		1,716,648	238	
内訳	木とふれあう人数	400,000	225,523	224,094	362,144	418,560		1,230,321	308
	森と交流する人数	250,000	96,906	90,982	114,094	125,547		427,529	171
	公募事業に参加する人数	70,000	36,799	5,771	9,924	6,304		58,798	84

令和5年度事業実績

○ 基金繰入額

積立金	内容	予算額	決算額	差引額
森林環境保全基金積立金	森林環境税の目的である、「森林環境の保全」と「森林と共生する文化の創造」を図る事業を計画的かつ確実に実施するため、基金として積み立てる。	600,643	600,375	-268

○森林環境保全基金積立金 (A)	600,643	600,375	-268
------------------	---------	---------	------

○ 基金繰入額

区分	内容	事業名	予算額	決算額	差引額
県指定事業 森をつくる活動	県民が安全で安心して暮らせるよう森林環境の保全を図るため、森林整備、森林病虫害獣害の防除やそれを支える人材の育成等を総合的に進める。		234,128	220,253	-13,875
		①森林整備推進事業 「えひめ森林・林業振興プラン」に基づく森林整備の推進を図る	67,000	64,949	-2,051
		②集落等山地災害危険地区整備事業 山地災害危険地区の森林を土砂流出防止機能の高い健全な森林へ誘導	40,000	39,269	-731
		③フォレスト・マイスター養成支援事業 林業技術者等の担い手を養成する研修の実施	17,323	17,215	-108
		④有害鳥獣総合捕獲事業 二ホンジカによる森林被害等を軽減し、森林を保全	51,780	46,785	-4,995
		⑤特定鳥獣保護管理計画推進事業 二ホンジカの個体数調査や試験捕獲の実施	6,900	5,093	-1,807
		⑥優良種苗確保事業 健全な森林を造成するため優良な苗木を確保、提供	29,303	29,303	0
		⑦林業躍進プロジェクト推進事業 推進会議の開催等による森林・林業の現状把握	1,678	1,458	-220
		⑧県産大径材生産促進事業 大径材活用のための流通設備等の支援	7,993	7,956	-37
		⑨森林カーボンオフセット促進事業 県内におけるJ-クレジット販売・供給促進	3,081	2,330	-751
		⑩エリートツリー活用省力化モデル事業 エリートツリーの活用・普及促進	5,000	4,909	-91
⑪えひめ農林水産業魅力発信事業 新たな林業の担い手確保	1,316	986	-330		
県指定事業 木をつかう活動	持続的な森林経営の推進に不可欠な森林資源の利活用を促進するため、公共的施設や民間住宅における木造化・木質化等による、木質資源の利用拡大を図るとともに、県産材の安定供給体制等の整備を行い、県産材の競争力の強化を図る。		191,117	173,259	-17,858
		①木質バイオマス利用促進事業 未利用材を木質バイオマスとして有効利用	24,730	23,898	-832
		②C L T等建築物建設促進事業 地域のシンボルとなる公共施設の木造化及びC L T利用の普及・促進等	58,376	56,958	-1,418
		③木の香る公園施設整備事業 利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備	2,000	2,000	0
		④えひめ材住宅普及啓発事業 県産民間住宅に柱材を無償提供する等、木造住宅の建設を促進	70,373	59,360	-11,013
		⑤愛媛県産材製品市場開拓促進事業 県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓等を支援	13,710	13,429	-281
		⑥特用林産物生産販売促進事業 乾しいたけや乾たけのこ等の特用林産物生産者の確保	18,928	14,627	-4,301
⑦えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト	3,000	2,987	-13		
県指定事業 森とくらし活動	青少年を対象とした森林・林業体験や森林環境教育を行うとともに、森林づくりを行う市民グループやボランティア団体の交流や森づくりの場（フィールド）等の情報提供を行ない、県民参加による森林づくりの気運の醸成を図る。		31,558	28,705	-2,853
		①県民と森との交流促進事業 県民と森との交流促進	21,738	19,403	-2,335
		②林業普及指導事業 森林生プロジェクトの成果を県下に普及させるための体験と広報誌の発行	4,038	3,525	-513
		③「森に親しむ博物館」開催事業 自然や森林に関する巡回展や工作イベント等の開催	3,090	3,090	0
		④森林病虫害獣害対策事業 松林保全活動の支援及び二ホンジカの森林被害対策を図る	1,792	1,792	0
⑤アートの森プロジェクト事業 県美術館で、県産材により作成した額や展示台等による展示事業	900	895	-5		
事業 公募	県民の自発的な提案による森林環境保全等の活動に対する支援を行い、県民参加の森林づくり活動の一層の促進を図る		15,000	12,067	-2,933
		県民参加の森林づくり公募事業	15,000	12,067	-2,933
○事業総計 (B)			471,803	434,284	-37,519

積立 全国 植樹祭	令和8年春に開催予定の第76回全国植樹祭に向けてえひめ森林公園の整備や広報、開催準備を行い、機運醸成を図る		110,000	110,000	0
		全国植樹祭 積立額 (C) ※110,000千円×5年間 (R2～R6)	110,000	110,000	0
		○総計 (B+C)	581,803	544,284	-37,519
差額 (A-B-C) = 残額			18,840	56,091	37,251

積立 全国 植樹祭	全国植樹祭積立金 関連事業	令和5年度積立額	110,000	110,000	0
		令和4年度までの積立残額	196,159	196,159	0
		○積立金総計 (D)	306,159	306,159	0
		①全国植樹祭開催準備費	13,118	13,118	0
		②えひめ森林公園整備事業費	86,900	85,858	-1,042
○歳出予算総計 (E)			100,018	98,976	-1,042
差額 (D-E) = 残額			206,141	207,183	1,042

※金額については端数調整あり。

① 森林整備推進事業（造林事業）

「えひめ農林水産業振興プラン2021」による森林整備を一層強化するため、国庫補助の対象とならない森林施業等に支援を行い、森林の持つ公益的機能の高度発揮と林業の活性化、ひいては、地球温暖化防止に貢献します。

1 ポイント

「えひめ農林水産業振興プラン 2021」に基づき、森林が持つ地球温暖化防止や水源涵養及び県土保全機能等の高度発揮を図るため、森林整備を積極的に推進し、同プランの目標達成に取り組んでいます。本事業では、国庫補助の対象とならない森林所有者自ら実施する森林施業等に対する支援を行うことによって、同プランの目標達成に寄与するとともに、森林の保全・整備と林業・木材産業の振興を図るものです。

2 事業内容及び採択要件等

事業種	事業内容	採択要件
①自伐林家支援事業	国庫補助事業の対象とならない森林所有者等が自ら行う森林施業に対し、支援を行う。 (実施主体：森林所有者等)	・対象施業は、植栽、獣害対策、下刈、間伐、森林作業道開設等 ・1施行地の面積が0.05ha以上
②未整備森林再生事業	国庫補助事業の対象とならない林業事業者等が行う森林施業等に対し、支援を行う。 (実施主体：森林組合、林業事業者等)	・対象施業は、更新伐、森林作業道改良等 ・1施行地の面積が0.10ha以上
③林業架線作業支援	国庫補助事業の対象とならない林業事業者等が行う林業架線による木材搬出に対し、支援を行う。 (実施主体：林業事業者等)	・林業架線による木材生産 ・1施行地の面積が0.50ha以上

3 令和5年度実績

- (1) 実績額 64,949 千円
(2) 実施状況



獣害対策



更新伐



架線作業

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	森林整備面積 (ha)	349	308	173	233	233	1,296
	金額(千円)	141,768	56,717	56,717	67,000	67,000	389,202
	うち森林環境税(千円)	78,503	56,717	56,717	67,000	67,000	325,937
実績	森林整備面積 (ha)	259	148	122	194		
	金額(千円)	140,828	56,098	56,442	64,949		
	うち森林環境税(千円)	77,563	56,098	56,442	64,949		
実施箇所		県下全域	県下全域	県下全域	県下全域		

② 集落等山地災害危険地区整備事業

「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨によって集落等に被害を及ぼす恐れのある地区の森林について、本数調整伐等を実施し、下層植生を導入するなど土砂流出防止機能の高い健全な森林へと誘導します。

1 ポイント

近年、局地集中豪雨や大規模地震等の異常天然現象が増加する傾向にあり、山地災害の様相が大きく変化していることから、継続的な公共治山事業と併せて、これまで想定していなかった山地災害に対する新たな対応が求められています。

本事業では、公共治山事業として採択されない「山地災害危険地区」のうち土砂流出防止機能等が著しく低下し、降雨等で集落等に被害を及ぼす可能性が高い地区の森林等を緊急に整備して山地災害危険地の解消を図ることとしています。

2 事業内容

<p>(1) 溪流タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製ダム・柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの <p>(2) 山腹タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本数調整伐（間伐率 40%程度） ・簡易木製構造物（木製土留工、柵工等） ・その他森林機能回復のために必要なもの <p>(3) 機能回復タイプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・溪流内や既存治山施設に異常堆積した土石や流木等の除去 ・既存治山施設の軽微な修復 	<p>【実施場所】 県が定めている山地災害危険地区であって、民有林治山事業の採択基準を満たさない箇所であること。</p> <p>【事業主体】 県</p> <p>【採択要件】</p> <p>林分が過密化等して土砂流出防止機能等が低下している箇所、次のいずれかに該当するもの。</p> <p>① 溪流タイプ 現に森林が荒廃等して溪流に土砂の流出が認められる箇所で、整備対象森林面積が 10ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（全体計画額）が 500 万円以上であること。</p> <p>② 山腹タイプ 人家 5 戸以上の集落後背部の森林で、整備対象面積が 5ha 以上、かつ、1 箇所の工事費（全体計画額）が 250 万円以上であること。</p> <p>③ 機能回復タイプ 集落後背部の森林で、台風災害等により、土石や流木等の不安定堆積物が異常堆積し、森林が有する災害防止機能や既存治山施設の機能が低下している箇所であること。</p>
--	--

3 令和 5 年度実績

(1) 実績額 39,269 千円（事務費含む）

(2) 実施状況



西条市大保木（大保木）



大洲市肱川町宇和川（小畑井）

森をつくる活動

4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	山地保全面積	70ha	70ha	70ha	70ha	70ha	350ha
	事業費	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	200,000千円
	うち森林環境税	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	200,000千円
実績	山地保全面積	45.19ha	18.86ha	24.41ha	14.65ha		ha
	作業歩道等	1,233m	0m	515m	160m		m
	事業費	38,898千円	39,255千円	39,314千円	39,269千円	千円	千円
	うち森林環境税	38,898千円	39,255千円	39,314千円	39,269千円	千円	千円
実施箇所	四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 砥部町(1) 大洲市(2) 西予市(1)	四国中央市(1) 西条市(1) 今治市(1) 久万高原町(1) 大洲市(2)	西条市(1) 今治市(2) 久万高原町(1) 大洲市(2) 西予市(1)	西条市(1) 伊予市(1) 久万高原町(1) 大洲市(1) 内子町(1)			

③ フォレスト・マイスター養成支援事業（一部森林環境税事業）

公益的機能を持つ森林を面的・効率的に整備する林業技術者（フォレストワーカー）と作業管理者（フォレスト・マイスター）を養成するとともに、異業種から参入する事業体を育成する研修や林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を実施します。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に応える林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、新規就業を希望する者に林業を行う上で必要な基本的知識・技術・資格を取得する研修を実施し、現場作業を担う林業技術者（フォレストワーカー）を養成するとともに、現場作業班のリーダー及び現場作業の管理者（フォレスト・マイスター）を養成し、林業の担い手の確保育成を図ります。

さらに、異業種から林業界へ新規に参入する事業体等に対し現地研修等を実施するとともに、県内の林業事業体と就業希望者とのマッチングを促進するための就業相談会を開催し、幅広く林業の担い手を確保することとしています。

2 事業内容

(1) フォレストワーカー養成コース 対象人数 年間7名 【実績14名】 研修期間 26日間	森林整備に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 （緑の雇用担い手確保育成対策事業と共催で実施） ○講習内容：林業の基礎知識、造林育林技術、伐採技術、機械の構造と仕組み、森林病虫獣害の防除 ○取得資格：玉掛技能講習、小型車両系建設機械運転業務特別教育（整地等）、伐木等の業務に係る特別教育、刈払機取扱作業安全衛生教育、走行集材機械の運転の業務の特別教育
(2) 林業架線作業技術コース 対象人数 年間14名 【実績11名】 研修期間 30日間	林業架線作業に必要な基本的知識・技術・資格等の習得研修 ○講習内容：架線知識、架線法令、架線力学、架線設計、架線の架設・撤去、集材機操作、クレーン架設・撤去、スイングヤード架設・撤去、ワイヤロープ実習、架線現場視察 ○取得資格：林業架線作業主任者免許、小型移動式クレーン運転技能講習、簡易架線集材装置等の運転の特別教育、機械集材装置の運転の業務特別教育、はい作業従事者安全教育
(3) 高性能林業機械作業技術コース 対象人数 年間12名 【実績8名】 研修期間 38日間	高性能林業機械活用およびコスト管理に必要な知識・技術・資格等の研修 ○講習内容：高性能林業機械の基本操作、高性能林業機械の構造と仕組み、スイングヤード架設・撤去、システム運用実習、間伐作業の技術・経営・コスト管理 ○取得資格：大型自動車運転免許、車両系建設機械（整地等・解体）技能講習、不整地運搬車技能講習、フォークリフト運転技能講習、はい作業主任者技能講習、走行集材機械の運転の業務の特別教育、伐木等機械の運転業務の特別教育、簡易架線集材装置等の運転の特別教育
(4) 安全衛生教育指導者育成コース 対象人数 年間5名 【実績4名】 研修期間 3日間	安全衛生及び技術向上に関する高度な指導者の養成研修 ○講習内容 伐木等作業に関する安全管理とKYT活動の進め方
(5) 林業新規就業者確保促進事業 対象人数 相談会40名 【実績14名】	林業の新規就業者を確保するため、就業相談会「森林の仕事ガイダンス」を開催する。 ○就業相談会：年間2回開催 林業事業体等による林業の相談・説明
(6) 異業種等新規参入促進支援事業 対象人数 年間10名 【実績8名】	異業種等から新規参入する事業体を対象に、林業の基礎知識等の研修会及び林業従事者を養成する研修を実施するとともに、先進林業事業体の受入れ研修に参加させる。
(7) 林業事業体経営改善指導事業 対象人数 年間50名 【実績67名】	林業事業体に対し事業の合理化や経営改善に関する指導等を実施。

森をつくる活動

3 令和5年度実績

(1) 実績額 17,215 千円 (全体事業費 23,081 千円)

(2) 実施状況



フォレストワーカー養成コース



林業架線作業技術コース



高性能林業機械作業技術コース



安全衛生教育指導者育成コース

4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計 画	森林整備面積	4.0 ha	4.0 ha	4.0 ha	4.0 ha	4.0 ha	20.0 ha
	研修受講者数	258人	250人	258人	158人	158人	1,082人
	事業費	21,561千円	21,311千円	28,416千円	26,950千円	26,950千円	125,188千円
	うち森林環境税	18,839千円	18,639千円	18,639千円	17,323千円	17,323千円	90,763千円
実 績	森林整備面積	4.4 ha	5.8 ha	6.2 ha	7.4 ha		
	研修受講者数	266人	323人	339人	126人		
	事業費	20,000千円	19,905千円	20,662千円	23,081千円		千円
	うち森林環境税	17,278千円	17,480千円	18,066千円	17,215千円		千円
実施箇所		県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円	

④ 有害鳥獣総合捕獲事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる農林業等に係る被害を軽減し、森林等の公益的機能の保全や農林業従事者の生産意欲の減退を防ぐため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援します。

1 ポイント

近年、ニホンジカによる森林被害や農作物被害が深刻化しているため、市町が行うニホンジカ捕獲事業を支援し、ニホンジカの捕獲を強化します。

2 事業内容

有害鳥獣総合捕獲事業

①補助対象

市町が、ニホンジカの捕獲を強化するため、銃器又はわなによりニホンジカを捕獲した者に対し、奨励金の交付等を行うのに要する経費に対して補助

②事業実施主体 市町

③補助率 1 / 2 以内

④基準経費 10,000 円 / 頭

3 令和5年度実績

(1) 実績額 46,785 千円（全体事業費 110,345 千円）

(2) 実施状況 ニホンジカ捕獲頭数 9,977 頭

4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	捕獲計画数（全体）	8,315頭	8,315頭	10,800頭	10,800頭	10,800頭	49,030頭
	捕獲計画数 （森林環境税分）	7,871頭	7,871頭	10,356頭	10,356頭	10,356頭	46,810頭
	事業費	83,150 千円	83,150 千円	108,000 千円	108,000 千円	108,000 千円	490,300千円
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355 千円	51,780 千円	51,780 千円	51,780 千円	234,050千円
実績	捕獲実績数（全体）	8,065頭	9,447頭	8,638頭	9,977 頭		
	捕獲実績数 （森林環境税分）	8,065頭	9,447頭	8,638頭	9,977頭		
	事業費	89,864 千円	110,165 千円	100,747 千円	110,345千円		
	うち森林環境税	39,355 千円	39,355千円	42,228千円	46,785千円		
実施箇所	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	18市町 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、砥部町、久万高原町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町	ニホンジカにより森林被害及び農作物被害を受けている市町		

⑤ 特定鳥獣保護管理計画推進事業（一部森林環境税事業）

ニホンジカによる生態系被害等を抑制するため、個体数を適正に推定するための生息調査等を実施するとともに、これまで捕獲が進まなかった高標高地域等での、個体数調整を目的とした計画的な捕獲を実施します。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施します。

1 ポイント

ニホンジカによる農林業被害等が深刻な状況にあり、平成 25 年 12 月、環境省と農林水産省が「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」をとりまとめ、ニホンジカの個体群を令和 10 年度までに半減させることを目指しています。

県では適正管理計画を策定し、増えすぎたニホンジカを適正な生息数にするよう、生息密度調査等を実施し、個体数を推定するとともに、捕獲目標の達成のため、認定鳥獣捕獲等事業者等による積極的な個体調整（捕獲）を推進しました。また、イノシシについても捕獲等が進んでいない自然公園を対象として捕獲を実施しました。

2 事業内容

- (1) ニホンジカの食害による自然植生の喪失を早期かつ確実に抑制・防止するため、石鎚山系及び石鎚山系に侵入が危惧される東予東部地域、東予西部・中予北東部地域の個体数調整を行うとともに、被害の著しい南予南部地域の個体数調整を、集中的かつ広域的に実施しました。またイノシシについては、捕獲作業が進んでいない自然公園（松山市・今治市：奥道後玉川県立自然公園周辺）で捕獲作業を実施しました。



- (2) ニホンジカ、イノシシの生活環境、農林業及び生態系に係る被害への対策に寄与するため、生息密度の推定を行いました。ニホンジカについては、県下 40 ルートでの糞塊密度調査の結果や捕獲頭数等から、イノシシについては、捕獲頭数等をもとに算出しました。

3 令和 5 年度実績

- (1) 実績額 5,093 千円（全体事業費 23,518 千円）
 (2) 実施状況



4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	調査地点数 (生息密度)	40	40	40	40	40	200
	調査地点数 (植物被害)	17	17	17	17	17	85
	捕獲従事者数 (延べ)	400人	400人	400人	400人	400人	2,000人
	事業費	30,660千円	28,500千円	28,500千円	30,000千円	27,001千円	144,661千円
	うち森林環境税	9,200千円	6,900千円	6,900千円	6,900千円	5,316千円	35,216千円
実績	調査地点数 (生息密度)	40	40	40	40		
	調査地点数 (植物被害)	17	40	—	—		
	捕獲従事者数 (延べ)	604人	158人	260人	251人		
	事業費	27,567千円	21,157千円	20,629千円	23,518千円		
	うち森林環境税	8,866千円	3,905千円	4,661千円	5,093千円		
実施箇所	[生息密度調査] 県内40地点 [植生衰退度調査] 県内80地点 [捕獲箇所] 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域	[生息密度調査] 県内40地点 [植生衰退度調査] 県内40地点 [捕獲箇所:シカ] 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 [捕獲箇所:イシシ] 今治市(塔ノ峰園地 周辺)	[生息密度調査] 県内40地点 [捕獲箇所:シカ] 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 [捕獲箇所:イシシ] 今治市(塔ノ峰園地 周辺)	[生息密度調査] 県内40地点 [捕獲箇所:シカ] 石鎚山系、東予東部 地域、東予西部・中 予北東部地域、南予 南部地域 [捕獲箇所:イシシ] 松山市・今治市(奥 道後玉川県立自然 公園周辺)			

⑥ 優良種苗確保事業（一部森林環境税事業）

林木の品種改良、種子採取源の整備等を行い、優良な種穂の供給を確保するとともに、林業躍進プロジェクトの推進に向けて、低コスト再造林の実現が課題となっていることから、通年植栽が可能なコンテナ苗、成長等が優れた第2世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、国が推進している花粉症対策品種苗木の利用拡大の促進を積極的に行います。

1 ポイント

私たちの生活を守る森林は、植え付けた苗木が立派に成長し成林するまでに、数十年を要します。この間、保育作業をはじめ多くの人手と経費が投入され、厳しい自然環境のもとで森林は、病害虫や気象害の危険にさらされることとなります。植え替えなどのやり直しができないことから、植え付けられる苗木の優劣は健全な森林を造成する上で大きな要因となってきます。このため、県では優良種苗の安定供給を図るため、成長の優れた第2世代精英樹（特定母樹・エリートツリー）、花粉症対策品種、抵抗性マツなどの採取源を整備し、県民のニーズに対応した種苗の供給や苗木生産技術等の普及し、活力のある林業を目指します。

2 事業内容

事業名	事業内容
育種母樹林整備事業	県採種園（新居浜市・東温市・内子町）内の採種用母樹の育成及び着花結実を促進するためのジベレリン処理等を実施
花粉症対策品種等育成推進事業	花粉症対策品種の採種園管理及びその普及啓発・育苗技術習得を実施
苗木供給体制整備事業 （※森林環境税事業）	第2世代精英樹や花粉症対策品種からなるミニチュア採種園の整備や、コンテナ苗木の生産拡大等の支援を実施
種子採取事業 （※森林環境税事業）	林業躍進プロジェクト等に基づき増産する優良種苗確保に必要な種子の採取を実施

3 令和5年度実績

- (1) 実績額 29,303千円（全体事業費 39,638千円）
 (2) 実施状況



4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計 画	育種母樹林整備事業 ジベレリン処理	220本	220本	220本	220本	220本	1,100本
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	スギ 300本 ヒノキ 100本 400本	スギ 400本 ヒノキ 200本 600本	ヒノキ 416本 500本	ヒノキ 300本 300本	ヒノキ 100本 100本	スギ 700本 ヒノキ 1,200本 1,900本
	種子採取事業	一式	一式	一式	一式	一式	一式
	金額(千円)	40,015	40,128	38,654	40,070	40,070	198,937
	うち森林環境税(千円)	31,729	31,027	28,436	29,303	31,729	152,224
実 績	育種母樹林整備事業 ジベレリン処理	220	220本	220本	220本		
	花粉症対策品種等育成推進事業	一式	一式	一式	一式		
	苗木供給体制整備事業 特定母樹	スギ 198本 ヒノキ 11本 209本	スギ 226本 ヒノキ 6本 232本	ヒノキ 416本 416本	ヒノキ 156本 156本		
	種子採取事業	一式	一式	一式	一式		
	金額(千円)	36,330	32,817	37,802	39,638		
	うち森林環境税(千円)	28,931	25,508	25,481	29,303		
実施箇所	県内一円	県内一円	県内一円	県内一円			

⑦ 林業躍進プロジェクト推進事業（一部森林環境税事業）

「えひめ農林水産業振興プラン2021」の目標達成に向けた「林業躍進プロジェクト(第2期)」に取り組むとともに、県民等に対し森林の理解を深める機会を創出します。

1 ポイント

令和3年3月に策定した「えひめ農林水産業振興プラン2021」及びその実行プログラムである「林業躍進プロジェクト(第2期)」の進行管理や県民との意見交換のための推進会議を開催します。

また、持続可能な森林経営の達成に資する「森林認証材」の販売体制を強化するとともに、動画コンテンツ等の活用により、県民や企業に対し、森林・林業に対する理解を深める機会を創出し、森づくりへの参画を促進します。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) 林業躍進プロジェクト(第2期)推進事業	広く県民の意見を聴取するため、各地域における推進会議を開催 (参集者：市町、林業関係団体、森林所有者、製材・加工・流通業者等)
(2) 森林認証材消費販売強化対策事業	民間レベルでの認知度向上に向けた、認証材製品の開発や円滑な認証材流通・販売を促すための検討会を開催
(3) カーボンオフセット普及啓発事業	カーボン・オフセットの認知度向上と企業等におけるJ-VERを活用した社会貢献活動を促すため、普及啓発と表彰等を行う。
(4) 「えひめ森林・林業」情報発信事業	えひめの森林・林業に対するイメージアップを図るため、“えひめの森林・林業”ページを開設・運営し、様々な情報を配信する。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 1,458千円(全体事業費 2,556千円)

(2) 実施状況



林業躍進プロジェクト推進会議



J-VER 社会貢献活動に対する表彰

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	4回	4回	4回	4回	20回
	森林管理(FM)面積(増加量)	—	3,700ha	3,700ha	3,700ha	3,700ha	14,800ha
	事業費	818千円	3,513千円	3,449千円	2,971千円	8,025千円	18,776千円
	うち森林環境税	428千円	2,156千円	2,156千円	1,678千円	5,897千円	12,315千円
実績	林業躍進プロジェクト推進会議の開催	4回	1回	4回	4回	—	回
	森林管理(FM)面積(増加量)	—	3,152ha	3,053ha	4,044ha	ha	回
	事業費	323千円	2,190千円	2,922千円	2,556千円	千円	千円
	うち森林環境税	266千円	1,260千円	1,757千円	1,458千円	千円	千円
実施箇所	東子地方局、中子地方局、南子地方局(本局、八幡浜支局)	八幡浜市	東子地方局、中子地方局、南子地方局(本局、八幡浜支局)	東子地方局、中子地方局、南子地方局(本局、八幡浜支局)			

⑧ 県産大径材生産促進事業

高齢級化・大径木化が進む人工林において、生産される大径材の活用を進めるため、林内路網と林業機械の改良、集積場所の確保や生産管理など流通設備の導入などに対して支援を行うことにより、持続的な林業経営の確立を目指します。

1 ポイント

スギ・ヒノキを中心とする人工林においては高齢級化・大径木化が進んでおり、そこから生産される大径材の更なる活用を進めるためには、山から効率的かつ安定的に生産・流通させるシステムを構築するとともに新たな需要の開拓が必要となっています。

本事業では、大径材に対応できるよう、林内路網と林業機械の改良、集積場所の確保やサプライチェーン構築のための生産管理など流通設備の導入など先行的に取り組みようとしている事業者に対して支援を行うことにより、県内への波及効果が期待できるほか、持続的な林業経営の確立を目指します。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) 生産基盤整備支援	大径材を安全かつ効率的に生産できる作業システムを構築するため、大径材に対応可能な林内路網の拡幅や林業機械の改良に要する経費の一部を支援します。
(2) 集積・保管場所確保支援	大径材用途の多様化に対応するため、集積・保管・仕分け場所（山土場や中間土場など）の確保や整備に要する経費の一部を支援します。
(3) サプライチェーン構築支援	県産材の需要が増す中、大径材を製材工場へ安定的に供給するためのサプライチェーン構築にあたり、大径材の生産管理等の機材の導入に要する経費の一部を支援します。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 7,956 千円

(2) 実施状況



生産基盤整備支援（近藤産業㈱）



サプライチェーン構築（愛媛県森林組合連合会）

4 事業期間 令和4年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R4	R5	R6	計
計画	路網及び機械の改良箇所数	4 箇所	4 箇所	4 箇所	12 箇所
	土場整備数	5 箇所	5 箇所	5 箇所	15 箇所
	サプライチェーン構築数	2 体制	2 体制	2 体制	6 体制
	事業費	7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
	うち森林環境税	7,993 千円	7,993 千円	7,993 千円	23,979 千円
実績	路網及び機械の改良箇所数	2 箇所	2 箇所	箇所	箇所
	土場整備数	3 箇所	0 箇所	箇所	箇所
	サプライチェーン構築数	2 体制	1 体制	体制	体制
	事業費	7,934 千円	7,956 千円	千円	千円
	うち森林環境税	7,934 千円	7,956 千円	千円	千円

⑨ 森林カーボンオフセット促進事業

県内におけるJ-クレジット（以下、クレジット）販売によるカーボンオフセットを促進し、民間企業への販売機会を創出するとともに、クレジット発行が可能な森林経営者に対して供給対策を行うことで、本県森林に係る排出権取引を活性化し、森林整備の資金に繋げることで、2050年カーボンニュートラルの達成に寄与します。

1 ポイント

県内におけるクレジット販売を促進するため、クレジット発行者と県内外の民間企業とのマッチング相談会を開催するほか、県内外の企業や団体へ営業活動を行います。

また、森林由来のクレジット供給を促進するため、森林経営者向けに意向調査やセミナーを実施し、新たなクレジット制度への理解度を高め、クレジット発行への意欲向上を図ります。

2 事業内容

項目	取組内容
(1) J-クレジット販売促進	県内クレジット発行者と県内外の民間企業とのマッチング相談会を開催するほか、県内外の企業や団体へ営業活動を行う。
(2) 森林クレジット供給対策	森林経営者向けに意向調査やセミナーを実施し、新たなクレジット制度への理解度を高め、クレジット発行への意欲向上を図る。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 2,330千円（事業費 2,330千円）

(2) 実施状況



マッチング相談会



J-クレジット活用セミナー

4 事業期間 令和5年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R 5	R 6	計
計画	森林吸収系J-クレジット販売量	70 t-CO ₂	75 t-CO ₂	145 t-CO ₂
	マッチング相談会参加者数	6者	6者	12者
	セミナー参加者数	20名	30名	50名
	事業費	3,081千円	2,772千円	5,853千円
	うち森林環境税	3,081千円	2,772千円	5,853千円
実績	県産J-クレジット販売量	133 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
	マッチング相談会参加者数	7者	者	者
	セミナー参加者数	37名	名	名
	事業費	2,330千円	千円	千円
	うち森林環境税	2,330千円	千円	千円

⑩ エリートツリー活用省力化モデル事業（一部森林環境税事業）

成長の早いエリートツリーを活用し、育林の省力化と経費節減の実証や県産「スギ」エリートツリーの品種開発を行い、造林・保育作業者の労働環境の改善と定着率向上を図ります。

1 ポイント

県産材の増産と森林の若返りを図るため、林業躍進プロジェクトでは、主伐・再造林を推進してきたところですが、造林・保育作業者の数は、高齢化や労働強度などを理由に減少傾向にあります。本事業では、在来品種に比べ、成長が早く、下刈り回数や植栽本数の削減を可能とする「エリートツリー」を活用し、育林の省力化など造林・保育作業の軽減効果を実証するとともに、現地研修会を開催し、エリートツリーの普及啓発を行い、労働環境の改善及び定着率向上を図ります。

2 事業内容

事業名	事業内容
エリートツリーモデル事業	エリートツリーを活用した労働負荷軽減効果の高い技術を実証するため、スギ・ヒノキのエリートツリーモデル林を整備
研修会の開催	エリートツリーの普及啓発を図るため、モデル事業の成果報告や林業用ドローンを使用した苗木運搬の実践など研修会を開催

3 令和5年度実績

- (1) 実績額 4,909 千円（全体事業費 5,436 千円）
- (2) 実施状況



モデル林整備（西予市）



研修会（四国中央市）

4 事業期間 令和5年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R5	R6	計
計	エリートツリーモデル事業	25ha	25ha	50ha
	研修会の開催	一式	一式	—
画	金額（千円）	5,600	5,600	11,200
	うち森林環境税（千円）	5,000	5,000	10,000
実	エリートツリーモデル事業	25ha		
	研修会の開催	一式		
績	金額（千円）	5,436		
	うち森林環境税（千円）	4,909		
実施箇所		県内一円		

⑪ えひめ農林水産業魅力発信事業費（一部森林環境税事業）

えひめ愛顔の農林水産人を活用して、学生等の次世代を担う人物に対し、林業に関わる機会を創出することで、林業のイメージを新3K（稼げる、かつこいい、感動を楽しめる）に変えます。この取り組みによって、次世代人材の掘り起こしを図り、公益的機能を持つ森林を整備する新たな林業の担い手の確保につなげます。

1 ポイント

森林の持つ公益的機能を発揮するためには、適切な森林整備とそれに伴う木材生産の実施、搬出される木材の多面的利用を推進する必要があります。しかし、森林整備を行う林業の担い手は、減少しており、時代の要請に応える林業の担い手の確保が急務となっています。

このため、えひめ愛顔の農林水産人を活用して、県内の高校生に対する林業体験研修を実施し、林業に関わる機会を創出することで、林業のイメージを新3K（稼げる、かつこいい、感動を楽しめる）に変える契機となり、次世代人材の掘り起こしを図り、新たな担い手の確保につなげます。

2 事業内容

林業への就業意欲向上を目的として、えひめ愛顔の農林水産人を活用して、県内高校生等に対して出前授業（林業作業の基礎的体験研修）を実施する。林業の魅力を林業従事者目線でPRすることで、林業に対する理解の促進を図る。

対象校	学年・人数	研修概要	実施時期	講師 (えひめ愛顔の農林水産人)
西条農業高等学校	環境工学科 2年生 12名	チェーンソーの仕組み、分解、組み立てについて	R5.7	平川 絢也 (西条市)
	環境工学科 2年生 10名	伐木・造材実習	R5.12	宇佐美 克弥 (西条市)
	環境工学科 2年生 11名	しいたけ植菌体験	R6.3	宇佐美 克弥 (西条市)
今治南高等学校	園芸クリエイト科 2年生 26名	搬出間伐現場の視察、高性能林業機械・チェーンソー操作体験	R5.10	井門 孝三郎 (今治市)
	園芸クリエイト科 1年生 24名	高性能林業機械・チェーンソー操作体験	R5.11	井門 孝三郎 (今治市)
宇和島産業技術専門学校	住まいづくり木工科 1年生 13名	搬出間伐現場の視察、チェーンソー操作体験	R5.12	山内 翔平 (鬼北町)
	住まいづくり木工科 1年生 11名	植栽体験	R6.2	山内 翔平 (鬼北町)
北宇和高等学校	生産類型 2年生 35名	森林調査、枝打ち、高性能林業機械・チェーンソー操作体験	R5.7	山内 翔平 (鬼北町)

3 令和5年度実績

(1) 実績額 986 千円 (全体事業費 13,954 千円)

(2) 実施状況



チェーンソー操作体験



チェーンソーの安全講習



高性能林業機械（グラップル）操作体験



森林・林業の仕事について説明

4 事業期間 令和5年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R5	R6	計
計画	林業年間新規就業者数 (森林環境税分)	60人	60人	120人
	事業費	15,988千円	13,115千円	29,103千円
	うち森林環境税	1,316千円	1,316千円	2,632千円
実績	林業年間新規就業者数 (森林環境税分)	65人		
	事業費	13,954千円		
	うち森林環境税	986千円		
実施箇所		県下一円	県下一円	

① 木質バイオマス利用促進事業

木質バイオマスの利用拡大を促進するとともに、林地残材を資源化する体制の構築を支援し、中山間地域を支える林業の振興、木材の利用拡大を図ります。

1 ポイント

本事業では、森林整備により発生した林地残材等の木質バイオマス利用を進めるため、木質バイオマスの搬出に係る経費の支援を行い、製紙用チップや木質ペレット等の原料として安定的に利用する事業を促進するとともに、未利用材の生産流通システムの構築・検証を支援します。

2 事業内容

(1) 木質バイオマス利用促進事業

①木質バイオマス有効活用事業

製材の用途に不向きな低質材や、林内に放置されている林地残材を、製紙用原料、木質ペレット等として利用するための支援を行い、林業の振興と木質バイオマスの利用促進による二酸化炭素貯蔵効果の発揮に貢献します。

②林地残材資源化促進事業

林内に放置されている不定形な林地残材を木質バイオマス発電用途に向けて供給する取組を支援します。

(2) 木質バイオマスエネルギー利用普及促進事業

県内における中小木材産業の木質バイオマス利用を促進するため、エネルギー利用の実態調査を行うとともに、施設導入計画等の作成を支援し、エネルギー効率の向上を図ります。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 23,898 千円

(2) 実施状況

○木質バイオマス有効活用事業[2,180 千円]

製材の用途に不向きな低質材、林内に放置されている林地残材の製紙用原料利用、木質ペレット等の利用を進めるため、木質バイオマス搬出経費に対し支援を行いました。

事業内容	補助対象材積 (m ³)
低質材の有効活用に対する補助 (3社)	4,360

○林地残材資源化促進事業[20,400 千円]

林内に放置されている林地残材をバイオマス発電に用いるため、林地残材の搬出経費に対し支援を行いました。

事業内容	補助対象材積 (t)
林地残材の資源化に対する補助 (2社)	36,822

○木質バイオマスエネルギー利用普及促進事業[1,318 千円]

県内における中小木材産業の木質バイオマス利用を促進するため、エネルギー利用実態調査等を行いました。

木をつかう活動

(3) 事業イメージ



5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	低質材の有効利用量	6,000m3	6,000m3	6,000m3	6,000m3	6,000m3	30,000m3
	林地残材等の資源化量	17,000t	17,000t	20,000 t	24,000 t	24,000 t	102,000
	事業費	21,230千円	21,230千円	21,230千円	24,730千円	24,730千円	113,150千円
	うち森林環境税	21,230千円	21,230千円	21,230千円	24,730千円	24,730千円	113,150千円
実績	低質材の有効利用量	4,900m3	6,000m3	6,000m3	4,360m3		
	林地残材等の資源化量	31,833t	29,799t	30,405t	36,822t		
	事業費	21,103千円	20,580千円	20,222千円	23,898千円		
	うち森林環境税	21,103千円	20,580千円	20,222千円	23,898千円		
実施箇所		県内	県内	県内	県内		

② CLT等建築物建設促進事業

地域材を利用した公共施設の木造化・木質化や、本県が全国に先駆けて普及を図っているCLT(直交集成板)の利用を支援し、県産材の更なる利用促進を図り、脱炭素社会の実現を目指します。

1 ポイント

県内で製造されるCLT等県産材を活用し、民間のCLT建築物への建設・設計支援や設計技術者等の育成、一般県民への普及・PRを推進します。

2 事業内容

(1) CLT建築物建設促進事業

① CLT建築物支援事業(事業主体:民間事業者)

CLTの需要拡大のため、民間の商業施設をはじめとする非住宅分野における建設・設計に対し支援を行い、CLT建築物の建設を促進させることで、CLTの需要拡大を図ります。

② CLT建築物普及促進事業(事業主体:県(委託先:愛媛県CLT普及協議会))

設計士、施工業者及び加工業者等の実務者を対象に実務的な体験型セミナーを開催し、CLTに関する実務者の育成を図るほか、一般消費者等への普及PRにより、CLT建築物の建設を促進します。

③ CLT普及促進情報整備事業(事業主体:県)

既存のCLT建築物における住環境評価を検証し、結果を販売促進活動に活用することで、CLT建築物の建設促進を図ります。

④ 普及促進事業(事業主体:県)

(一社)日本CLT協会等が実施する研修会やセミナー等の各種活動に参加するほか、普及効果の高いCLT建築物の建設事例や各種工法の情報収集を実施し、県内でのCLT利用を普及・促進します。

(2) 木材利用推進事業

① 県関連施設整備事業(事業主体:市町)

市町が行う県関連施設の木造化に対する経費を補助します。

② 公共的施設木材利用促進支援事業(委託先:愛媛県CLT普及協議会)

空港や港等、公共的な役割を果たす民間施設に対する木製家具等の導入を支援します。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 56,958千円

(2) 実施状況

○CLT建築物建設促進事業

①CLT建築物支援事業

CLTの建設を促進させるため、民間事業者が建設するシンボリックなCLT建築物の設計・建設に対する支援を行いました。(設計支援4件、建設支援6件)

②CLT建築物普及促進事業

市町や設計実務者等を対象とした研修会及び体験型セミナーを実施し、CLT建築物の建設促進を図りました。

また、CLTを使用した3階建て集合住宅の推進を図り、一般消費者に対してCLT建築物の普及・PR活動を行いました。

③CLT普及促進情報整備事業

既存のCLT建築物における住環境性能の環境評価を検証し、販路開拓のツールとして活用を図りました。

④普及促進事業

CLT加工施設の導入や建設に向けて先進事例を調査するとともに、各種イベント等において、CLTの利点や活用事例などを紹介し、普及啓発に努めました。

木をつかう活動



CLT建築物支援事業
(CLTを使用した3階建て集合住宅)



CLT建築物支援事業
(川之江港湾運送(株)事務所)



普及促進事業
(体験型セミナーの開催)



普及促進事業
(建築を学ぶ専門学校生に向けたセミナーの開催)

○木材利用推進事業

①県関連施設整備事業

事業内容	事業主体	施設名	施設概要	木材使用量	補助金額
木造公共施設整備事業	上島町	弓削高等学校学生寮	木造平屋 (972 m ²)	164 m ³	8,000 千円

②公共的施設木材利用促進事業

松山空港国際線ビルに CLT 等県産材を使用した「木製パンフレットラック」を設置する支援を行いました。



県関連施設整備事業
(弓削高等学校学生寮 (上島町))



公共的施設木材利用促進事業
(松山空港国際線ビル 1F ロビー)

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	CLT建築物数	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	25施設
	セミナー回数	5回	2回	3回	3回	3回	16回
	公共施設数	5施設	7施設	5施設	5施設	5施設	27施設
	事業費	67,088千円	92,134千円	71,348千円	58,376千円	58,376千円	347,322千円
	うち森林環境税	67,088千円	92,134千円	71,348千円	58,376千円	58,376千円	347,322千円
実績	CLT建築物数	4施設	4施設	3施設	6施設		
	セミナー回数	2回	2回	3回	3回		
	公共施設等数	4施設	7施設	3施設	2施設		
	事業費	57,524千円	84,627千円	57,480千円	56,958千円		
	うち森林環境税	57,524千円	84,627千円	57,480千円	56,958千円		
実施箇所	○CLT建築物建設促進事業 店舗 1施設 事務所 2施設 加工施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 事務所 1施設 認定こども園 1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設 学校施設 1施設	○CLT建築物建設促進事業 研修施設 1施設 共同住宅 1施設 展示施設 1施設 加工施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 児童館 1施設 学校施設 2施設 公営住宅 1施設 保育所 1施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設 倉庫 1施設	○CLT建築物建設促進事業 木質バイオマス発電施設 1施設 加工施設 1施設 保養施設 1施設 ○木造公共施設整備事業 公民館 2施設 ○小規模木造施設整備事業 公園施設 1施設	○CLT建築物建設促進事業 事務所 5施設 協同住宅 1施設 ○木造公共施設整備事業 学生寮 1施設 ○公共の施設木材利用促進事業 空港 1施設			

③ 木の香る公園施設整備事業

利用者に優しい木材を使用した公園施設の整備を進めていきます。

1 ポイント

「木をつかう」事業の一環として、県管理の都市公園において、休憩所、ベンチや分煙パーテーションなどの新たな施設を木製品で整備することにより、利用者が優しく暖かみを感じることができる公園の整備を進めるとともに、景観的にも周囲の樹木と調和した緑豊かな安らぎ空間を提供するものである。

※県管理の都市公園

県営総合運動公園（とべ動物園を含む）、道後公園、南予レクリエーション都市公園

2 事業内容

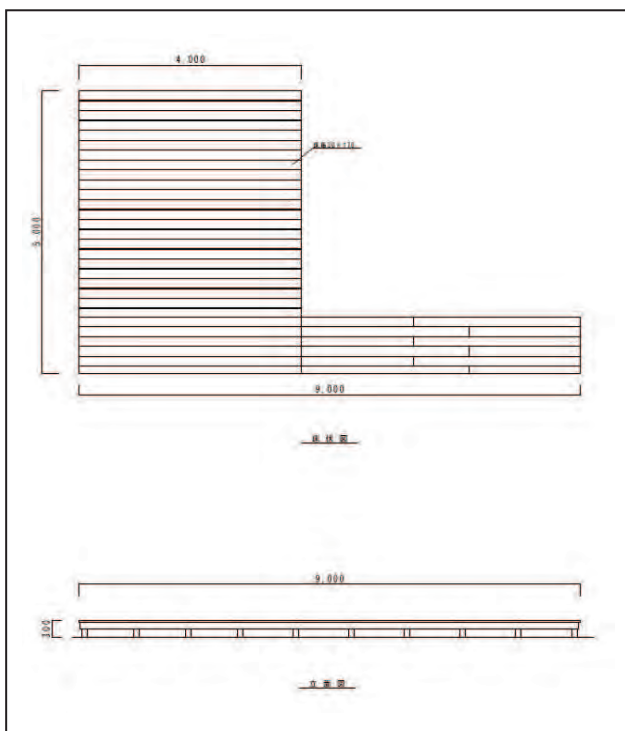
- 事業箇所 第1号南予レクリエーション都市公園
(宇和島市津島町近家)
- 施設概要 ウッドデッキ 1式
- 整備効果 南レク都市公園に木製のウッドデッキを設置することは、公園利用者にうらおいとやすらぎの空間を提供するとともに、周囲樹木等と調和した景観の向上が期待できる。
また、さまざまな人々が集い、ふれあいの場となる都市公園に間伐材を利用した設を設置することで、木材に対する理解や関心を深めることになり、木材の利用促進にも寄与する。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 2,000 千円

(2) 実施状況

公園名・地区名	事業主体	事業内容	事業費	備考
第1号南予レクリエーション都市公園	愛媛県	ウッドデッキ	2,000 千円	
計			2,000 千円	



木をつかう活動

4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数	71,300人	36,800人	72,400人	36,800人	110,000人	327,300人
	木材使用量 (m3)	0.05	7	0.3	2	13	52
	事業費	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	5,000千円	13,500千円
	うち森林環境税	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円	5,000千円	13,500千円
実績	ふれあう人数	32,400人	21,500人	50,400人	31,000人		
	木材使用量 (m3)	0.05	7	0.21	1.8		
	事業費	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円		
	うち森林環境税	2,500千円	2,000千円	2,000千円	2,000千円		
実施箇所	県営総合運動公園 (分煙パティション)	南レク第1号公園 (パーゴラ)	県営総合運動公園 (分煙パティション)	南レク第1号公園 (ウッドデッキ)			



住宅等リフォーム木材利用促進事業



外構施設木材利用促進事業

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	相談窓口相談件数	600件	600件	600件	600件	600件	3,000件
	柱材提供件数	300件	300件	300件	300件	300件	1,500件
	住宅等リフォーム木材利用件数	100件	85件	85件	85件	85件	440件
	外構施設木材利用件数	20件	20件	20件	20件	20件	100件
	県産材普及PR実施件数	-	5件	5件	-	-	10件
	事業費	72,386千円	71,332千円	71,332千円	70,373千円	70,373千円	355,796千円
	うち森林環境税	72,386千円	71,332千円	71,332千円	70,373千円	70,373千円	355,796千円
実績	相談窓口相談件数	900件	727件	755件	627件	件	件
	柱材提供件数	318件	350件	345件	274件	件	件
	住宅等リフォーム木材利用件数	91件	52件	56件	60件	件	件
	外構施設木材利用件数	34件	25件	22件	21件	件	件
	県産材普及PR実施件数	-	4件	2件	-	件	件
	事業費	72,206千円	70,943千円	70,646千円	59,360千円	千円	千円
	うち森林環境税	72,206千円	70,943千円	70,646千円	59,360千円	千円	千円
実施箇所	県内	県内	県内	県内			

⑤ 愛媛県産材製品市場開拓促進事業

品質管理、多様な製品供給、安定供給といった信頼性のある県産材の販売体制整備や大消費地での市場開拓に対して支援するとともに、木材の新たな利用用途開発を支援することで、林業経営の安定と森林整備を推進します。

1 ポイント

愛媛県産材製品市場開拓協議会が行う3大都市圏等の大消費地における愛媛県産材やCLTの販路拡大を支援するとともに、有力な木材需用者に対する知事トップセールスやマッチング商談会を実施し、県産材の需要拡大を促進します。

2 事業内容

- (1) 販売体制整備事業【事業主体：愛媛県産材製品市場開拓協議会】
 - 3大都市圏等における大手商社・住宅メーカー、設計事務所等に対するセールス等の実施
 - 県産材製品の販売の体制整備
- (2) 愛媛県産材販売促進事業【事業主体：愛媛県(一部委託(愛媛県産材製品市場開拓協議会))】
 - 首都圏の大手商社、住宅メーカー等を対象にマッチング商談会を実施するとともに、展示会等への出展により、効率的に商談機会を創出するとともに、有力木材需用者への知事トップセールスを実施するなど、県産材製品の販路開拓を実施します。
- (3) 新たな県産材利用促進事業【事業主体：民間事業者等】
 - 県産材を使用した新商品や利用方法の開発に取り組もうとする民間企業への支援
 - 新たな県産材の利用方法等に関する説明会を実施

3 令和5年度実績

- (1) 実績額 13,429 千円
- (2) 実施状況
 - 販売体制整備事業
 - 大手商社・プレカット工事等に対する営業活動を支援し、新たな販路拡大を行いました。
 - 愛媛県産材販売促進事業
 - 愛媛県産材のPRのため、首都圏等大消費地で開催される展示会に出展しました。
 - ・非住宅木造建築フェア 2023(R5. 11. 1~2) (インテックス大阪)
 - 県内外において県産材マッチング商談会を実施しました。
 - ・県外に出向き、木材関係者を招待して商談会を実施(愛知県名古屋市)
 - 新たな県産材利用促進事業
 - ・民間企業等のアイデアを活かし、製材製品以外の県産材の利用商品や利用方法の開発に対し、以下のとおり支援を行いました。(4件)

事業主体	実施内容
株式会社イルミファーム	ヒノキ入浴剤の開発
三新機械株式会社	屋外サウナキット製品の開発
株式会社LINK WOOD DESIGN	木製アクセサリーの開発
昭和建設有限会社	県産スギ極厚マッサージフロアの開発
計	4件

木をつかう活動



非住宅 木造建築フェア 2023 での県産材PR (R5. 11. 1~2)



名古屋市内の木材市場での県産材展示・販売会 (R5. 11. 22)

4 事業期間 令和2年度～令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県産材マッチング商談会の実施	3回	3回	3回	3回	3回	15回
	建材関係展示会への出展	2回	2回	2回	2回	2回	10回
	新たな県産材利用件数	5件	5件	4件	4件	4件	22件
	事業費	14,800千円	14,690千円	13,710千円	13,710千円	13,710千円	70,620千円
	うち森林環境税	14,800千円	14,690千円	13,710千円	13,710千円	13,710千円	70,620千円
実績	県産材マッチング商談会の実施	2回	4回	4回	4回	回	回
	建材関係展示会への出展	1回	3回	5回	4回	回	回
	新たな県産材利用件数	6件	6件	6件	4件	件	件
	事業費	13,784千円	14,336千円	13,534千円	13,429千円	千円	千円
	うち森林環境税	13,784千円	14,336千円	13,534千円	13,429千円	千円	千円

⑥ 特用林産物生産販売促進事業（一部森林環境税事業）

特用林産物における生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、しいたけ原木供給支援、消費宣伝活動、新たな販路開拓やしいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図ります。

1 ポイント

乾しいたけや乾たけのこ等の特用林産物は、林業産出額の5割を占めるなど、林産物とともに地域経済の活性化や雇用の確保に大きな役割を占めているものの、生産者の減少や豊凶等の影響もあり、生産量が思うように伸びていない状況にあります。

そこで、生産者の確保及び収量の安定化や生産基盤の強化に加えて、しいたけ原木供給支援、新たな販路の開拓、しいたけ生産による林福連携の推進等により、価格向上と産地化を目指すとともに、地域の資源を活用した農山村地域の活性化を図ります。

2 事業内容

事業名	事業内容
(1) 原木乾しいたけ等生産促進支援事業	原木の拡大生産分及び新品種を活用した原木導入経費、生産・加工施設整備、しいたけ原木供給の支援、販売促進や営業活動、料理コンテストの開催及びしいたけ生産による林福連携の推進を行う。
(2) 乾たけのこ生産基盤整備事業	増産体制を構築するため、乾たけのこ生産拡大連絡協議会と連携を図る。また、乾たけのこ生産、増産に取り組もうとする森林組合等に対し、生産量の確保・増産を支援するため、作業道開設及び生産・加工に係る施設整備経費に対して助成を行う。
(3) 特用林産物販売・消費拡大支援事業	特用林産物の認知度向上と消費拡大を図るため、県内の飲食店に対して食材としての採用を働き掛けるとともに、採用されたメニューや店舗については、情報誌を活用し県民に広く周知する。

3 令和5年度実績

(1) 実績額 14,627 千円（全体事業費 15,257 千円）

(2) 実施状況



料理コンテスト



林福連携の取組み



コラボ商品による消費拡大支援

4 事業期間 令和2年度 ～ 令和6年度

木をつかう活動

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	ふれあう人数	200人	200人	200人	200人	200人	1,000人
	木材使用量	3,965m ³	3,965m ³	3,965m ³	3,965m ³	3,965m ³	19,825m ³
	乾たけのこ生産面積	362ha	372ha	382ha	392ha	402ha	402ha
	事業費	25,010 千円	24,463 千円	19,825 千円	19,625 千円	20,648 千円	109,571 千円
	うち森林環境税	24,611 千円	23,631 千円	19,131 千円	18,928 千円	19,951 千円	106,252 千円
実績	ふれあう人数	121人	103人	171人	176人	人	人
	木材使用量	3,322m ³	3,113m ³	2,400m ³	2,061m ³	m ³	m ³
	乾たけのこ生産面積	363ha	405ha	429ha	344ha	ha	ha
	事業費	24,463 千円	22,250 千円	19,056 千円	15,257 千円	千円	千円
	うち森林環境税	23,682 千円	21,599 千円	18,478 千円	14,627 千円	千円	千円
実施箇所		県下全域	県下全域	県下全域	県下全域		

⑦ えひめこどもの城「To-beの森」プロジェクト（一部森林環境税事業）

えひめこどもの城において、県産材等を用いて、フォトジェニックな木製オブジェを設置します。

1 ポイント

本県の子どもたちの遊びと創造のシンボル施設であるえひめこどもの城では、豊かな自然に囲まれた立地を活かし、魅力向上のための新しい空間づくりを推進している。

そこで、若年層や女性の関心を引くフォトジェニックな木製オブジェを設置し、県内外からの来園を促進するとともに、木材への親しみを深めてもらい、もって県産材の需要拡大を図る。

2 事業内容

(1) 事業箇所 えひめこどもの城（松山市西野町）

(2) 施設概要 フォトジェニックな木製オブジェ

(3) 整備効果 てっぺんとりでエリアにおいて、若年層や女性の関心を引くフォトジェニックな木製オブジェを設置することにより、施設ひいては地域全体の魅力向上につなげるとともに、施設利用者が、遊びながら、森林・林業への理解を深められる環境を整える。

3 令和5年度実績

(1) 実施額 2,987千円（全体事業費2,987千円）

(2) 実施状況



4 事業期間

令和2年度 ～ 令和6年度

5 全体計画

事業内容		R2	R3	R4	R5	R6	計
計画	県民参加人数	450,000人	450,000人	450,000人	450,000人	—	1,800,000人
	木材使用量	221.9m ³	未定	未定	未定	—	未定
	事業費	274,903千円	55,590千円	63,500千円	3,000千円	—	396,993千円
	うち森林環境税	2,000千円	1,500千円	1,500千円	3,000千円	—	8,000千円
実績	県民参加人数	191,380人	201,290人	310,330人	386,270人	—	1,089,270人
	木材使用量	221.9m ³	34.6m ³	21.4m ³	1.0m ³	—	278.9m ³
	事業費	167,764千円	12,540千円	63,492千円	2,987千円	—	246,783千円
	うち森林環境税	2,000千円	1,500千円	1,500千円	2,987千円	—	7,987千円
実施箇所		えひめこどもの城とべ動物園	えひめこどもの城	えひめこどもの城	えひめこどもの城	—	